

有限会社 山伸製作所

〒124-0021

東京都葛飾区細田 4-40-2

URL <https://www.yamashin-ss.com/>

Company data

代表取締役

山田 浩

金属プレス加工事業を生業とする家に生まれ、幼い頃から仕事に没頭する父親の背中を見て育つ。学業を終えると金型メーカーに就職して経験を積み、家業へ入る。程なくして、2代目社長に就任した。現在は少数精鋭の体制で小回りの利く仕事を手がけている。

Personal data



## 機動力を武器に小ロット生産にも対応 創業半世紀の歴史を持つ金属加工会社

吉井 こちらは長年にわたり金属プレス加工を手がけておられるそうですね。山田社長で2代目だとうかがっています。

山田 ええ。当社は、故郷の新潟から上京した父親が1965年に立ち上げ、スキーブーツの金具をつくるメーカーとしてスタートしたんです。私はそんな父親の背中を見て育ったため、後を継ぐことを考えるのは自然な流れでした。社会人になった私は、一度外の世界で経験を積むために金型メーカーに入社しまして。そこで経験を積んだ後、家業に入り父親に鍛えられて、2代目に就任しました。

吉井 現在は多くの製品をつくっていらっしゃるようですね。品目はどのように増やしていったのですか？

山田 敷地も設備もあまり大きくはなかったもので、とにかく小さい製品を徹底

してつくるとというのが父親の方針だったんです。それで、自動車のオイルや薬液が漏れるのを防ぐオイルシールやワッシャー、工業機械を安定して稼働させるためのエンドシールなどの小さい製品を手がけるようになりました。今ではメインの製品となっています。オーダーに関しても少ロットから承り、数個単位の調節にも対応できるため、大手メーカーよりコストを抑えられる点が強みです。

吉井 そうなんですね。では、お仕事を進めるうえで、社長が心がけていらっしゃることはありますか？

山田 機動力を生かしつつ、お客様のご要望に可能な限りお応えするという事です。当社には、長年をかけて築いてきた鉄鋼業者や金型業者との横のつながりがあります。短い納期での対応が可能と

なることはもちろん、「金型がない」「図面がない」といった場合にも柔軟な対応が可能です。そうして、「山伸製作所に頼めば何とかなる」というイメージを、多くのお客様にもっていただければ幸いですね。

吉井 なるほど。だから、質の高いサービスを提供することができるのですね。

山田 はい。ときには、ご依頼が気に入ってスケジュールがタイトになってしまふこともあります。しかし、それでも協力し合っけきちんと納期に間に合わせてくれる現場のスタッフたちには本当に感謝しているんです。ただ、大切なスタッフにケガをさせるわけにはいきません。受注数が過多にならないようお客様と交渉したり、調節したりするのが私の役目だと思っています。

吉井 お話をうかがって、スタッフさんを大切にいらっしゃる様子が伝わってきました。スタッフさんも社長のような方のもとで働けて幸せでしょうね。

山田 ありがとうございます。最近はホームページを見てくださった方からのご依頼や、紹介のお客様も増えてきているので、チャンスをしっかり掴みながら、事業を存続させたいですね。そして、次の世代に良いバトンを渡せるよう、今後も一歩ずつ確実に歩んでまいります。

Guest Comment

吉井 怜 (女優)

「IoTに対応するために、社内にPCも導入しました」と語っていた山田社長。従来のシステムを新しいものへと変えるには、大きなパワーが必要だと思います。そんな中で、業務を最適化しようとする姿勢に感銘を受けました。若い人材が集まりそうな機運も感じますし、さらなる発展に期待しています。

